The Future of Japanese Wine

日本ワインの未来を創るプロジェクト

東御市 企業版ふるさと納税・寄附募集

日本ワインの未来へご支援をお願いします。



100年先まで続くブドウ栽培を、長野県東御（とうみ）市から！

長野県東御市にある「千曲川ワイン イノベーションセンター（CWIC：シーウィック）」を拠点に、
気候変動に対応した病害に強いブドウを日本全国へ広め、世界に通用する日本ワイン産業を育てるプロジェクトです。



なぜ、今「日本ワイン」に支援が必要なのか？

気候変動が進むなか、日本の風土に適した多様な品種の「ウィルス検査済み苗木」を安定供給する仕組みづくりが必要です。このプロジェクトは、持続的な日本ワイン産業の発展支えるの重要な取り組みになります。

「日本ワインの未来へつながる」寄附金の主な活用先

ワインブドウの遺伝子資源を未来へ受け継ぐため、日本国内で初の「ライブラリー・研究拠点」を整備します。欧米から輸入した苗木をセンターで育成、維持・管理し、日本の気候・風土への適応性調査や検査、品種評価等を行いながら、高品質な苗木を生産者へ安定供給する体制を目指します。尚、この取組みは高い専門性を持つ日本ワインブドウ栽培協会と連携し、農福連携事業も取り入れながら多様な人々が活躍できるソーシャルインクルージョンを実現します。



企業のご支援が日本のワイン造りとその産地の未来へ繋がります。企業版ふるさと納税で、東御市の挑戦をご支援ください。

【寄付目標金額】 1億5,000万円〈令和8年度 5,000万円〉

長野県東御市
公式情報サイト
こちら ▶▶

お問い合わせ 長野県 東御市 産業経済部農林課 農産物振興係　TEL：0268-75-2016　E-mail：nousei@city.tomi.lg.jp